

大分県立竹工芸訓練センターについて

この学校は、1939 年、負傷した軍人のための職業訓練所として設立されました。

1963 年に現在地へ移設され、竹工芸の職業訓練校である大分県立竹工芸訓練センターとなりました。

本校の 2 年コースへ入学した生徒は、竹材の準備、加工、編み方、染色および塗装技術を学びます。

1 年目は基礎を集中的に学び、2 年目にはより創作的な実習を行います。

授業は少人数で行われ、授業料やその他の費用は無料で、自己負担は作業服、書籍等の少額のみとなっています。

訓練期間中に制作した籠やその他の製品は県により販売され、売上金は学校の資材購入にあてられます。

本校は、現代の市場ニーズに合わせ、竹工芸品の製作に必要な技能を身に着けた職人の育成を目指しており、多くの卒業生がその分野において著名なクリエイターとなっています。

2009 年には、クリエイターの創作活動を支援するため、インキュベーション施設（貸し工房）を開設し、彼らの創業や自立を支援しています。